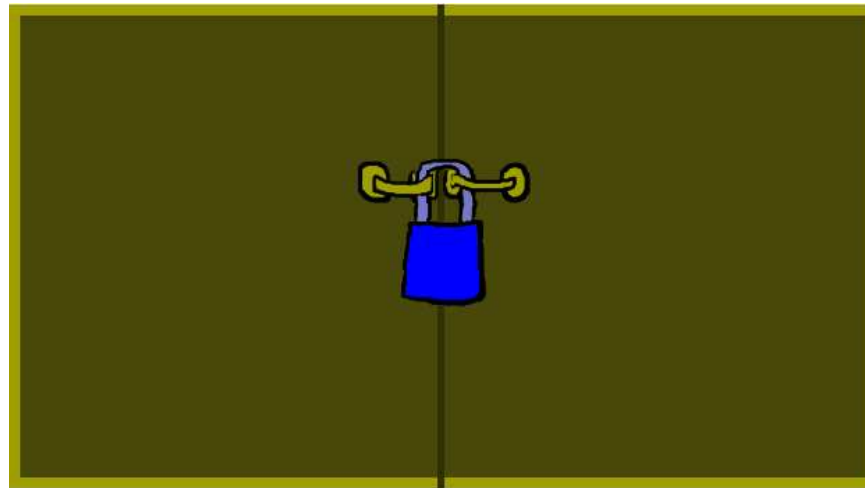


連作絵本「想像と現実」－ 4

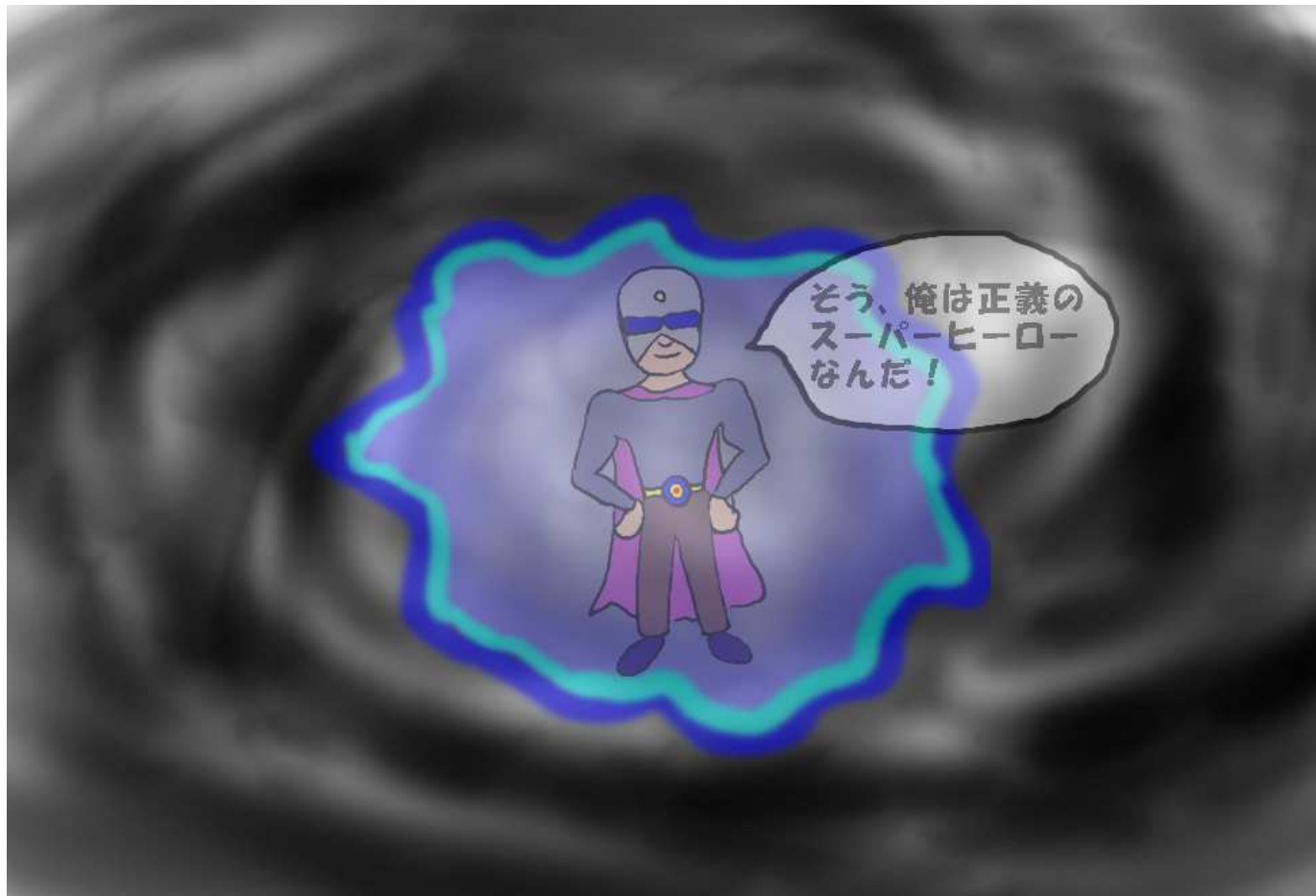
# 扉を開けて

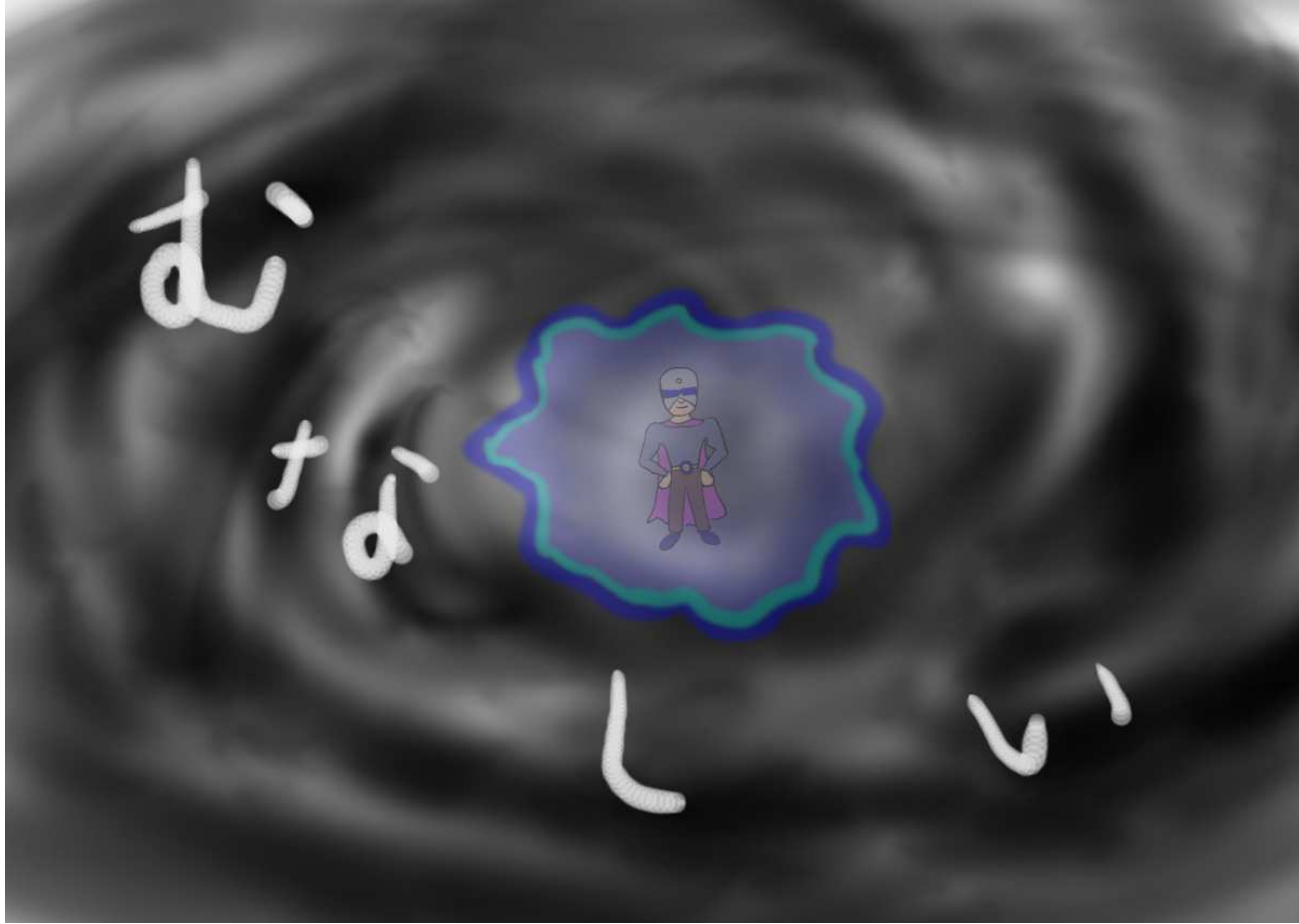


東郷 潤

あるところに現実から心を閉ざし、想像の世界で生きている人がいます。彼はいつも想像の世界で、自由に遊んでいるのです。たとえば、こんな感じ・・・

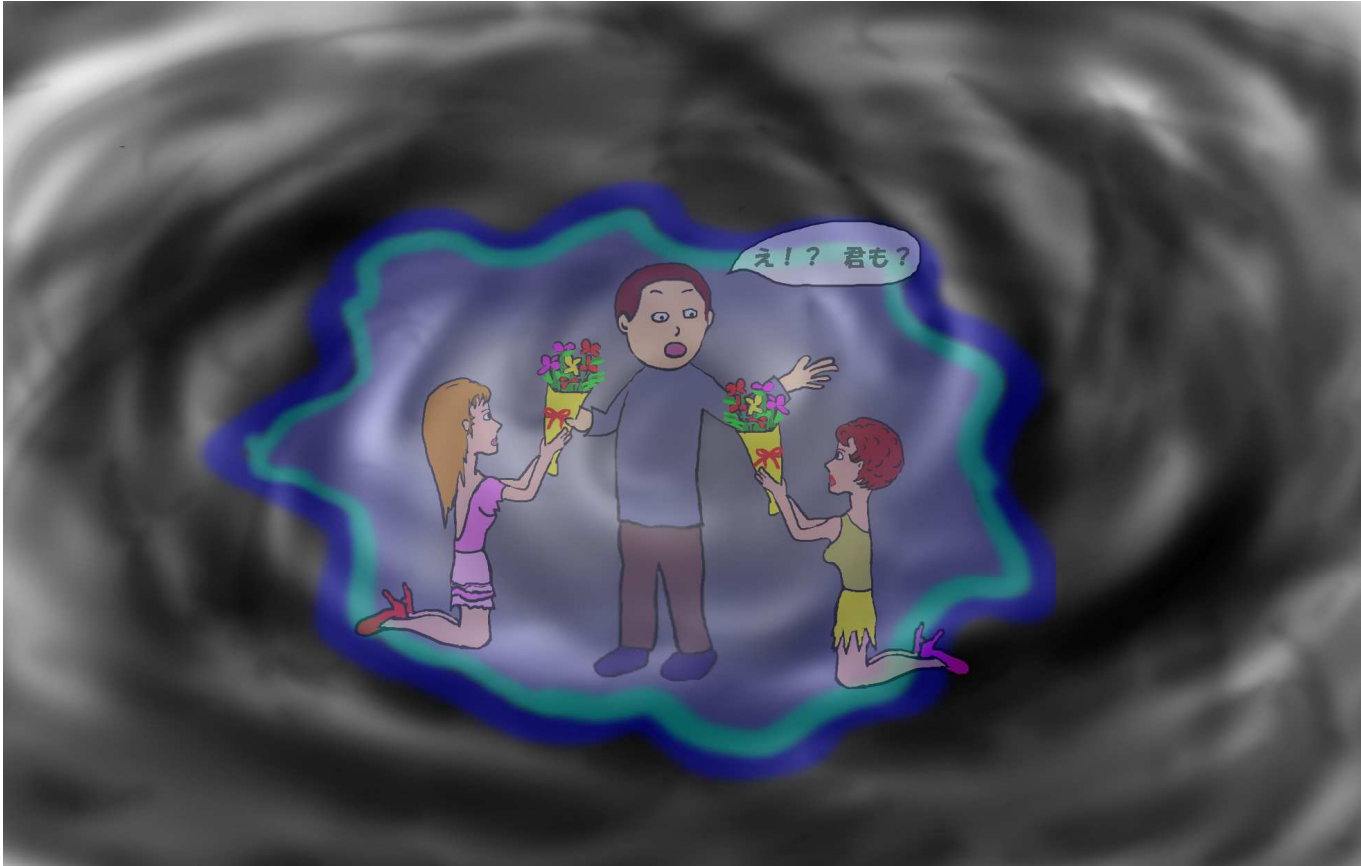






こんな想像だって、できますよ。

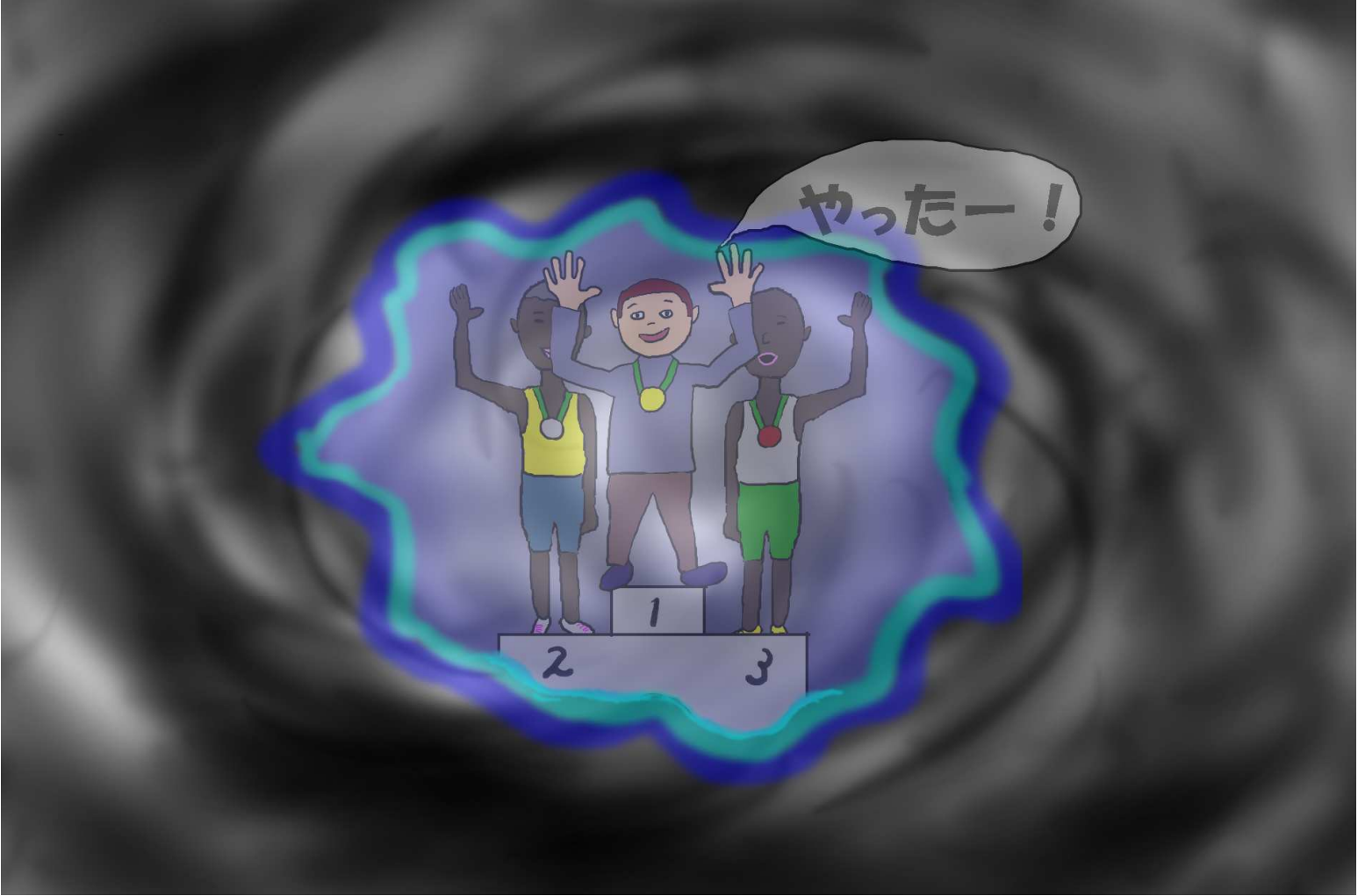


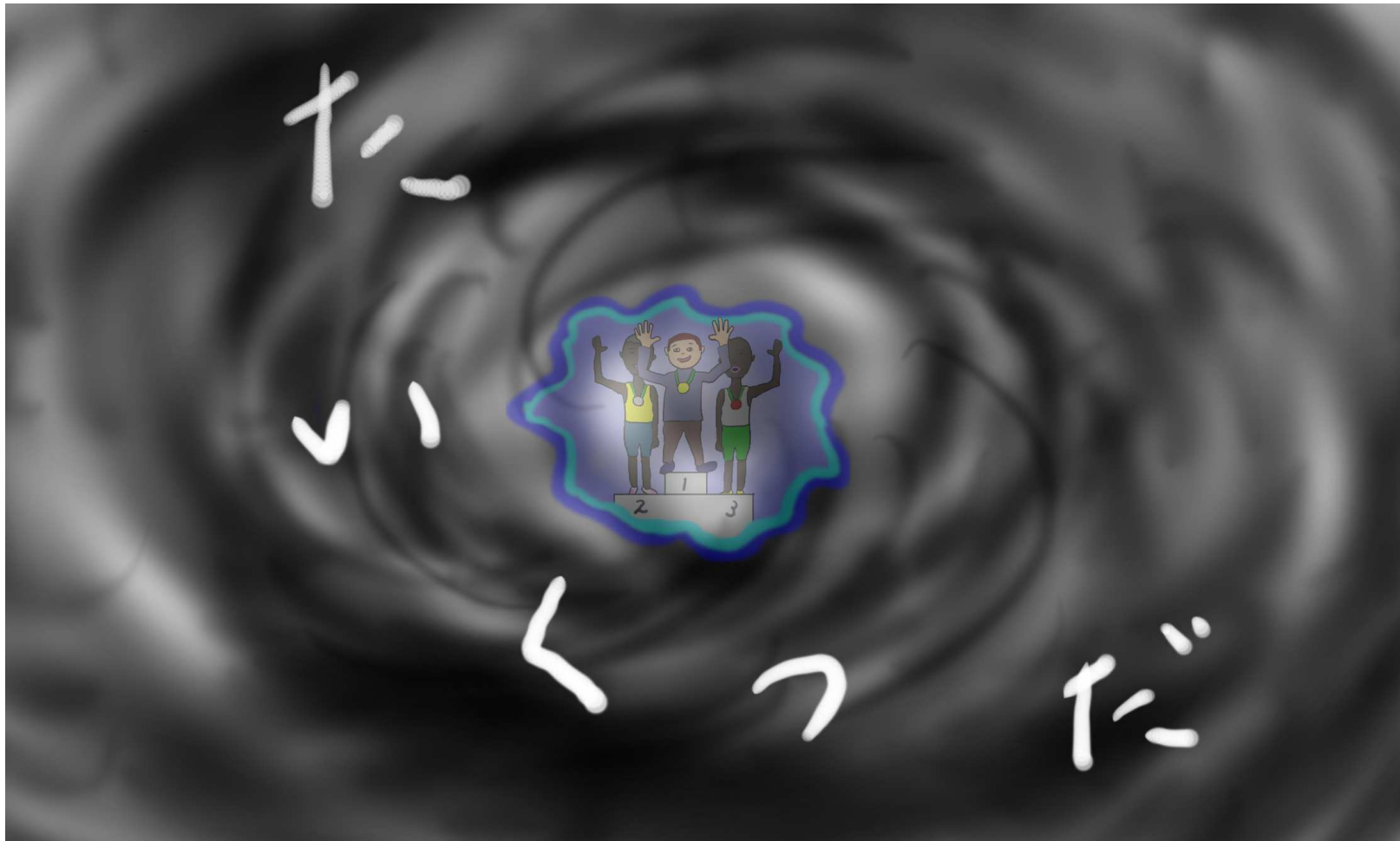




どんな夢だっけかなうんです。…ま、ただの想像ですから。







現実への扉を閉めた心の中では、どんな夢でもかなうけど…



空しさ・孤独・退屈を消すのは、難しいかも…

開、了！



## あとがき 一絵本「扉を開けて」

この絵本は、連作絵本「想像という現実」の4作目という位置づけで執筆したものです。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

[www.j15.org](http://www.j15.org)

©Jun Togo 2010